様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道4号 東埼玉道路(延伸)
事業主体	関東地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全 体 : 費用便益比(B/C) = 5.4 (経済的純現在価値(B-C) = 591億円、経済的内部収益率(EIRR) = 20.4%) 残事業 : 費用便益比(B/C) = 5.7 (経済的純現在価値(B-C) = 598億円、経済的内部収益率(EIRR) = 22.5%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

Ē	政策目標 指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)		指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリ ティの確保	■ 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間 : 4,145.8万人・時間/年 渋滞損失削減時間: 203.8万人・時間/年(4,145.8万人・時間/年⇒3942.0万人・時間/年) 区間b(当該区間/並行区間)について: (春日部市水角~草加市新善町) 並行区間等(当該区間)の渋滞損失時間:350.8万人・時間/年 並行区間等(当該区間)の渋滞損失削減率:約11%削減
		□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待 される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	朝日バス(越谷駅西口〜越谷市立図書館)、タローズバス(新越谷駅〜松伏ターミナル)、茨城急行バス(北越谷駅東口〜吉川駅北口)、東武バス(松原団地駅東口〜柿木二区) 等
		□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支 援	□ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
		│ □ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
1. 活力	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	

	□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
	□ 中心市街地内で行う事業である	
	□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
	□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
	口 対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha 以上)への連絡道路となる	
国土・地域ネットワークの構築	□ 高速自動車国道と並行する自専道 (A'路線) としての位置づけ有り	
	□ 地域高規格道路の位置づけあり	
	□ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
	□ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
	□ 現道等における交通不能区間を解消する	
	□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
	□ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
個性ある地域の 形成	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
	■ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	東埼玉テクノポリス(拡張計画)
	□ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	
	口 特別立法に基づく事業である	
	□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
	歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
事らし 歩行者・自転車 のための生活空 間の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該 当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
	交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
無電柱化による 美しい町並みの 形成		
	□ 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心でき るくらしの確保	□ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	

3. 安全	安全な生活環境 の確保	□ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交口 通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	□ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置 ■ づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)とし て位置づけあり	埼玉県地域防災計画で緊急輸送道路に指定 ・現道(4号):第一次特定緊急輸送道路 ・東埼玉道路既供用部:第一次緊急輸送道路
		□ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	
		□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する (A'路線としての位置づけがある場合)	
		現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		□ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		□ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
4. 環境	地球環境の保全	■ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	C O 2 排出削減量: 2, 359. 3t-C02/年
	生活環境の改 善・保全	■ 現道等における自動車からのNO2排出削減率	(現況) 自動車NO _X ・PM法対策地域指定・・・指定あり (推計結果) 評価対象区間(現道/並行区間等):(国道4号(現道)・足立越谷線・平方東京線) 排出削減量:76.5 t/年、排出削減率:約2割削減
		■ 現道等における自動車からのSPM排出削減率	(現況) 自動車NOX・PM法対策地域指定・・・指定あり (推計結果) 評価対象区間(現道/並行区間等):(国道4号(現道)・足立越谷線・平方東京線) 排出削減量:4.5 t/年、排出削減率:約2割削減
		現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		□ その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	□ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		□ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		□ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B P・そ の他の別
一般国道4号	東埼玉道路 (延伸)	L = 8.7 km	二次改築	ВР

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
12, 800~18, 300	2	関東地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年		平成 24 年度	
単純合計	132億円	76億円	207億円
うち残事業分	125億円	76億円	201億円
基準年における 現在価値 (C)	108億円	27億円	134億円
うち残事業分	100億円	27億円	127億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成 24 年度			
供 用 年	平成 30 年度			
単年便益 (初年便益)	40億円	1.1億円	1. 4億円	42億円
基準年における 現在価値(B)	682億円	19億円	24億円	725億円
うち残事業分	682億円	19億円	24億円	725億円

③ 結 果

費用便益比(事業全体)	5. 4
経済的純現在価値 (事業全体)	591億円
経済的内部収益率 (事業全体)	20. 4%
費用便益比(残事業)	5. 7
経済的純現在価値(残事業)	598億円
経済的内部収益率(残事業)	22. 5%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 (事業全体を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	12, 800~18, 300	±10%	4.9~5.9
事業費	132億円	±10%	5. 0 ~ 5. 9
事業期間	10年	±1年	5. 2 ~ 5. 6

④ 感 度 分 析 (残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	12, 800~18, 300	±10%	5. 1 ~ 6. 3
事業費	125億円	±10%	5. 2 ~ 6. 2
事業期間	5年	±1年	5. 5 ~ 5. 9

交通状況の変化

様式-3①

事業名:東埼玉道路(延伸) (事業全体・残事業)

(事業全体・残事業)

(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路 - [バイパス等] : : 8.7km -		交通量	[台/日]	0	14, 600
		走行時間	[分]	0	21
		走行時間費用	[億円/年]	0. 00	62. 12
		交通量	[台/日]	51, 900	49, 700
	国道4号 : 13.8km	走行時間	[分]	26	25
		走行時間費用	[億円/年]	252. 61	232. 51
	(主)足立	交通量	[台/日]	21, 600	19, 000
②主な周 辺道路	越谷線	走行時間	[分]	20	18
	: 8.5km	走行時間費用	[億円/年]	84. 17	66. 68
	(一)平方	交通量	[台/日]	19, 800	15, 100
	東京線	走行時間	[分]	24	20
	: 9.1km	走行時間費用	[億円/年]	90. 40	54. 40
③その他 : 750	道路合計). 7km	走行時間費用	[億円/年]	5, 817. 94	5, 788. 24

		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 790.8km 走行時間	引短縮便益 [億円/年]	6, 245. 12	6, 203. 96	41. 16

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある

事業名: 東埼玉道路(延伸) (事業全体・残事業)

【 図面(①、②に該当する道路を明示)】



費用便益分析の条件

事業名: 東埼玉道路(延伸)

(2)

			項目		チェック欄
		費用便益分析	折マニュアル		
	算出マニュアル	(平成20年1	1月 国土交通省 道路局 都市·地域图	整備局)	-
		その他			
		分析対象期間			50年間
分	が析の基本的事項	社会的割引率	<u>×</u>		4%
		基準年次			平成 24 年度
	交通流の	1時点のみ推	計		■ (H42)
	推計時点	複数時点での	D推計		
		整備の有無る			
	##1の生活	整備の有無の			口有 口無
	推計の状況	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載		
	推計に用いた	道路交通セン (三段階推定	■(H17センサス)		
	在前に用いた OD表	パーソントリッ	ップ調査をベースとした自動車OD表		П
	ODA	(四段階推定			
		その他()	
交		無			
通	開発交通量の	有			
流	開発父进軍の 考慮		考慮した開発交通量(トリップ数)		()台トリップ/日
推計	· J nex	有の場合のみ	考慮した理由を記載		
		QーV式を用			
		転換率式を用			
		QーV式と転	換率式の併用による配分		
		均衡配分(リ)			
		簡易手法			
	配分交通量の		小規模事業である		
	推計手法	簡易手法の 採択理由	山間部海岸部で併行道路が少ない		
			その他()		
		簡易手法の考え			
		その他()	
		各回の配分約	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
		して設定			
	速度設定の 考え方			序量(Qmin~Qmax)の 出においては、速度差	
	-4 VC/J	最終配分の過			
		採用理由を記載			
		その他()	

(3)

			項目	チェック欄						
		考慮しない								
		考慮する								
	ルロナ/マ の		面的に考慮							
	休日交通の 影響		対象路線のみ考慮							
		考慮する 場合のみ	採用した休日係数	() %						
		场口0707	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考えた	を記載						
		考慮しない								
		考慮する								
			採用した通行止め日数	() 日						
	災害等による		採用した通行止め日数の考え方を記載							
	通行止めの 影響	考慮する								
	が音	場合のみ	とり止め交通を考慮する							
			とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合!	よその考え方を記載						
		考慮しない								
		考慮する								
	冬期交通の 影響		採用した冬期日数	() 日						
		考慮する 場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載							
便										
益			冬期の走行速度と交通容量の関係							
の			設定の考え方を記載							
算定										
疋	交通流推計の	ブロック別・車								
	時点以外の	その他	П							
	便益の算定	(Ц							
		費用便益分析	折マニュアルの値を使用							
	車種別時間	独自に設定し								
	価値原単位									
		費用便益分析	ffマニュアルの値を使用							
	車種別走行	独自に設定し								
	経費原単位									
	交通事故減少	中央分離帯の								
	便益算定	中央分離帯の								
	│ 走行時間短縮・走	考慮しない								
	行経費減少•交通	考慮する								
	事故減少以外の便	(考慮の場合、	算出根拠を添付すること)							
	益									
	その他									

		項目	チェック欄
		詳細事業計画による値を採用	
	事業費	標準投資パターンを採用	
費		その他()	
用の	維持管理費	関東地方整備局における既存路線の実績を参考に設定	
算	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	
定	その他		
4.	その他		

延長(km) 単純価値(億円)

費用の現在価値算定表

箇所名:東埼玉道路(延伸)(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

固別右.米坷玉坦路(建	<u> </u>	 (+•)			単価(億円) 0.183	延長(km) 8.7	単純価値(億円) 1.59	
				事業費		維持管理		
年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	単純価値	現在価値	単純価値		
-10年目	十 <u>尺</u> H 20	1.1699	96.8	0.97	1.10	平心间间	が江岡旭	
-9年目	H 21	1.1249	95.6	1.40	1.55			
-8年目	H 22	1.0816	93.8	1.43	1.54			
-7年目	H 23	1.0400	93.8	1.44	1.50			
-6年目	H 24	1.0000	93.8	1.46	1.46			
-5年目	H 25	0.9615	93.8	4.50	4.33			
-4年目	H 26	0.9246	93.8	23.54	21.77			
-3年目	H 27	0.8890	93.8	45.78	40.70			
-2年目	H 28	0.8548	93.8	45.19	38.63			
-1年目	H 29	0.8219	93.8	6.01	4.94			
供用開始年度	H 30	0.7903	93.8	0.01	4.34	1.51	1.20	
1年目	H 31	0.7599	93.8			1.51	1.15	
2年目	H 32	0.7307	93.8			1.51	1.11	
3年目	H 33	0.7026	93.8			1.51	1.06	
4年目	H 34	0.6756	93.8			1.51	1.02	
5年目	H 35	0.6496	93.8			1.51	0.98	
6年目	H 36	0.6246	93.8			1.51	0.95	
7年目	H 37	0.6006	93.8			1.51	0.91	
8年目	H 38	0.5775	93.8			1.51	0.87	
9年目	H 39	0.5553	93.8			1.51	0.87	
10年目	H 40	0.5339	93.8			1.51	0.81	
11年目	H 41	0.5134	93.8			1.51	0.78	
12年目	H 42	0.4936	93.8			1.51	0.75	
13年目	H 43	0.4746	93.8			1.51	0.73	
14年目	H 44	0.4564	93.8			1.51	0.69	
15年目	H 45	0.4388	93.8			1.51	0.66	
16年目	H 46	0.4220	93.8			1.51	0.64	
17年目	H 47	0.4220	93.8			1.51	0.61	
18年目	H 48	0.3901	93.8			1.51	0.59	
19年目	H 49	0.3751	93.8			1.51	0.53	
20年目	H 50	0.3607	93.8			1.51	0.57	
21年目	H 51	0.3468	93.8			1.51	0.53	
22年目	H 52	0.3335	93.8			1.51	0.53	
23年目	H 53	0.3207	93.8			1.51	0.49	
24年目	H 54	0.3083	93.8			1.51	0.43	
25年目	H 55	0.2965	93.8			1.51	0.47	
26年目	H 56	0.2851	93.8			1.51	0.43	
27年目	H 57	0.2741	93.8			1.51	0.43	
28年目	H 58	0.2636	93.8			1.51	0.42	
29年目	H 59		93.8			1.51	0.40	
30年目	H 60	0.2437	93.8			1.51	0.37	
31年目	H 61	0.2343	93.8			1.51	0.37	
32年目	H 62	0.2253	93.8			1.51	0.34	
33年目	H 63	0.2253	93.8			1.51	0.34	
34年目	H 64	0.2188	93.8			1.51	0.32	
35年目	H 65	0.2003	93.8			1.51	0.32	
36年目	H 66	0.2003	93.8			1.51	0.30	
37年目	H 67	0.1852	93.8			1.51	0.28	
38年目	H 68	0.1780	93.8			1.51	0.27	
39年目	H 69	0.1712	93.8			1.51	0.27	
40年目	H 70	0.1712	93.8			1.51	0.25	
41年目	H 71	0.1583	93.8			1.51	0.23	
42年目	H 72	0.1522	93.8			1.51	0.24	
43年目	H 73	0.1322	93.8			1.51	0.23	
44年目	H 74	0.1403	93.8			1.51	0.22	
45年目	H 75	0.1407	93.8			1.51	0.21	
45年日	H 76	0.1301	93.8			1.51	0.20	
47年目	H 77	0.1301	93.8			1.51	0.20	
48年目	H 78	0.1203	93.8			1.51	0.19	
49年目	H 79	0.1203	93.8	-86.00	-9.95	1.51	0.18	
45十日	П /9	0.1107	შა.ბ	00.00	-9.90	1.01	0.18	
合 計	1			45.71	107.55	75.71	26.74	
					107.00		20.74	
単純事業費計				131.71		75.71		

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名:東埼玉道路(延伸)(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む) 単価(億円) 延長(km) 単純価値(億円)

固所名:果琦玉追路(处	<u>- 1</u> 中八分女子	+未)		単価(億円) 0.183	延長(km) 8.7	単純価値(億円) 1.59	
	GDP	事業費		維持管理			
年次	年度	割戻率	テ゛フレータ	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-10年目	H 20	1.1699	96.8				
-9年目	H 21	1.1249	95.6				
-8年目	H 22	1.0816	93.8				
-7年目	H 23	1.0400	93.8				
-6年目	H 24	1.0000	93.8				
-5年目	H 25	0.9615	93.8	4.50	4.33		
	H 26	0.9246	93.8	23.54	21.77		
-3年目	H 27	0.8890	93.8	45.78	40.70		
-2年目	H 28	0.8548	93.8	45.19	38.63		
-1年目	H 29	0.8219	93.8	6.01	4.94		
供用開始年度	H 30	0.7903	93.8			1.51	1.20
1年目	H 31	0.7599	93.8			1.51	1.15
2年目	H 32	0.7307	93.8			1.51	1.11
3年目	H 33	0.7026	93.8			1.51	1.06
4年目	H 34	0.6756	93.8			1.51	1.02
5年目	H 35	0.6496	93.8			1.51	0.98
6年目 7年目	H 36	0.6246 0.6006	93.8 93.8			1.51 1.51	0.95 0.91
8年目	H 38	0.5775	93.8			1.51	0.91
9年目	H 39	0.5553	93.8			1.51	0.87
10年目	H 40	0.5339	93.8			1.51	0.81
11年目	H 41	0.5339	93.8			1.51	0.81
12年目	H 42	0.4936	93.8			1.51	0.78
13年目	H 43	0.4746	93.8			1.51	0.72
14年目	H 44	0.4564	93.8			1.51	0.69
15年目	H 45	0.4388	93.8			1.51	0.66
16年目	H 46	0.4220	93.8			1.51	0.64
17年目	H 47	0.4057	93.8			1.51	0.61
18年目	H 48	0.3901	93.8			1.51	0.59
19年目	H 49	0.3751	93.8			1.51	0.57
20年目	H 50	0.3607	93.8			1.51	0.55
21年目	H 51	0.3468	93.8			1.51	0.53
22年目	H 52	0.3335	93.8			1.51	0.51
23年目	H 53	0.3207	93.8			1.51	0.49
24年目	H 54	0.3083	93.8			1.51	0.47
25年目	H 55	0.2965	93.8			1.51	0.45
26年目	H 56	0.2851	93.8			1.51	0.43
27年目	H 57	0.2741	93.8			1.51	0.42
28年目	H 58	0.2636	93.8			1.51	0.40
29年目	H 59		93.8			1.51	0.38
30年目	H 60	0.2437	93.8			1.51	0.37
31年目	H 61	0.2343	93.8			1.51	0.35
32年目	H 62	0.2253	93.8			1.51	0.34
33年目	H 63	0.2166	93.8			1.51	0.33
34年目	H 64	0.2083	93.8			1.51	0.32
35年目	H 65	0.2003	93.8			1.51	0.30
36年目	H 66	0.1926	93.8			1.51	0.29
37年目	H 67	0.1852	93.8			1.51	0.28
38年目 39年目	H 68	0.1780 0.1712	93.8 93.8			1.51	0.27 0.26
40年目	H 70	0.1712	93.8			1.51 1.51	0.25
41年目	H 71	0.1583	93.8			1.51	0.23
42年目	H 72	0.1522	93.8			1.51	0.24
43年目	H 73	0.1322	93.8			1.51	0.23
44年目	H 74	0.1407	93.8			1.51	0.22
45年目	H 75	0.1353	93.8			1.51	0.20
46年目	H 76	0.1301	93.8			1.51	0.20
47年目	H 77	0.1251	93.8			1.51	0.19
48年目	H 78	0.1203	93.8			1.51	0.18
49年目	H 79	0.1157	93.8	-85.23	-9.86	1.51	0.18
	1				2.55		55
合 計				39.79	100.50	75.71	26.74
単純事業費計				125.02		75.71	
半 邢尹未复訂				120.02		/0./1	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名: 東埼玉道路(延伸)(事業全体・残事業)

大温の丸に画に昇た衣			1	GDP							1							計
	年度	総走行台キロの年次別伸び率	割戻率	テ・フレータ		走行時間短	[縮便益(億円)			走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合	(億円)	
	(基準年)	(関東臨海プロック)							現在価値					現在価値		現在価値	便益合計	現在価値
年次	H24	乗用車類 小型貨物 普通貨物 全 車	(A)		乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	$(A) \times (2)$	3	③×(A)	(1)~(3)	割引率4%
供用開始年次	H 30	1. 00063 0. 99458 1. 00771 1. 00081	0.7903	93.8	25.65	5.32	8.91	39.88	31.52	0.88	0.22	0.04	1.14	0.90	1.43	1.13	42.45	
1年目	H 31		0.7599	93.8	25.67	5.29	8.98	39.94	30.35	0.88	0.21	0.04	1.14	0.87	1.43	1.08	42.51	32.30
2年目 3年目	H 32 H 33	1.00175 0.99529 1.01063 1.00219 1.00175 0.99527 1.01052 1.00219	0.7307 0.7026	93.8 93.8	25.69 25.73	5.26 5.23	9.05 9.15	40.00 40.11	29.23 28.18	0.89 0.89	0.21 0.21	0.04 0.04	1.14 1.14	0.83	1.43 1.43	1.04	42.57 42.69	31.10 29.99
4年目	п 33 Н 34	1.00174 0.99525 1.01041 1.00218	0.7026	93.8	25.78	5.23	9.13	40.11	27.18	0.89	0.21	0.04	1.14	0.80	1.43	0.97	42.81	28.92
5年目	H 35	1.00174 0.99523 1.01030 1.00218	0.6496	93.8	25.82	5.18	9.34	40.35	26.21	0.89	0.21	0.05	1.15	0.74	1.44	0.93	42.93	27.89
6年目	H 36	1. 00174 0. 99520 1. 01020 1. 00217	0.6246	93.8	25.87	5.16	9.44	40.46	25.27	0.89	0.21	0.05	1.15	0.72	1.44	0.90	43.05	26.89
7年目	H 37	1. 00173 0. 99518 1. 01009 1. 00217	0.6006	93.8	25.91	5.13	9.53	40.58	24.37	0.89	0.21	0.05	1.15	0.69	1.44	0.87	43.17	25.93
8年目	H 38	1, 00173 0, 99516 1, 00999 1, 00217	0.5775	93.8	25.96	5.11	9.63	40.70	23.50	0.89	0.21	0.05	1.15	0.66	1.45	0.84	43.29	25.00
9年目	H 39	1.00173 0.99513 1.00989 1.00216	0.5553	93.8	26.00	5.08	9.73	40.81	22.66	0.90	0.21	0.05	1.15	0.64	1.45	0.81	43.41	24.11
10年目	H 40	1.00172 0.99511 1.00980 1.00216	0.5339	93.8	26.05	5.06	9.82	40.93	21.85	0.90	0.20	0.05	1.15	0.61	1.45	0.78	43.53	23.24
11年目	H 41	1.00172 0.99509 1.00970 1.00215	0.5134	93.8	26.09	5.04	9.92	41.04	21.07	0.90	0.20	0.05	1.15	0.59	1.46	0.75	43.65	22.41
12年目	H 42	0. 98976 0. 99372 1. 00237 0. 99259	0.4936	93.8	26.14	5.01	10.01	41.16	20.32	0.90	0.20	0.05	1.15	0.57	1.46	0.72	43.77	21.61
13年目	H 43	0. 98965 0. 99368 1. 00236 0. 99253	0.4746	93.8	25.87	4.98	10.04	40.89	19.40	0.89	0.20	0.05	1.14	0.54	1.45	0.69	43.48	20.63
14年目	H 44		0.4564	93.8	25.60	4.95	10.06	40.61	18.53	0.88	0.20	0.05	1.13	0.52	1.44	0.66	43.18	19.71
15年目	H 45		0.4388	93.8	25.33	4.92	10.08	40.33	17.70	0.87	0.20	0.05	1.12	0.49	1.43	0.63	42.88	18.82
16年目	H 46		0.4220	93.8	25.07	4.88	10.11	40.06	16.90	0.86	0.20	0.05	1.11	0.47	1.42	0.60	42.59	17.97
		0. 98920 0. 99352 1. 00234 0. 99231	0.4057	93.8	24.80	4.85	10.13	39.78	16.14	0.85	0.20	0.05	1.10	0.45	1.41	0.57	42.29	17.16
18年目		0. 98909 0. 99348 1. 00233 0. 99225	0.3901	93.8	24.53	4.82	10.16	39.51	15.41	0.85	0.20	0.05	1.09	0.43	1.39	0.54	41.99	16.38
	H 49		0.3751	93.8	24.26	4.79	10.18	39.23	14.72	0.84	0.19	0.05	1.08	0.41	1.38	0.52	41.70	
20年目	H 50		0.3607	93.8	23.99	4.76	10.20	38.96	14.05	0.83	0.19	0.05	1.07	0.39	1.37	0.50	41.40	14.93
21年目	H 51		0.3468	93.8	23.73	4.73	10.23	38.68	13.41	0.82	0.19	0.05	1.06	0.37	1.36	0.47	41.10	
1		0. 98859 0. 99330 1. 00231 0. 99200	0.3335	93.8	23.46	4.70	10.25	38.41	12.81	0.81	0.19	0.05	1.05	0.35	1.35	0.45	40.81	13.61
23年目 24年目		0. 98846 0. 99326 1. 00231 0. 99193	0.3207	93.8 93.8	23.19 22.92	4.66 4.63	10.27 10.30	38.13 37.85	12.23 11.67	0.80 0.79	0.19 0.19	0.05 0.05	1.04 1.03	0.33	1.34 1.33	0.43 0.41	40.51 40.21	12.99 12.40
	H 54 H 55		0.3083	93.8	22.92	4.63	10.30	37.85	11.14	0.79	0.19	0.05	1.03	0.32	1.33	0.41	39.92	1
25年日		0. 98818 0. 99316 1. 00230 0. 99180 0. 98804 0. 99312 1. 00229 0. 99173	0.2965 0.2851	93.8	22.00	4.60	10.32	37.38	10.64	0.78	0.19	0.05	1.02	0.30	1.32	0.39	39.92	11.83
27年目	H 57		0.2831	93.8	22.39	4.57	10.33	37.30	10.04	0.77	0.18	0.05	1.00	0.29	1.30	0.37	39.02	10.78
28年目	H 58	0. 98775 0. 99307 1. 00229 0. 99160	0.2741	93.8	21.85	4.54	10.37	36.75	9.69	0.76	0.18	0.05	0.99	0.27	1.29	0.34	39.32	10.78
29年目		0. 98760 0. 99297 1. 00227 0. 99152	0.2534	93.8	21.58	4.48	10.39	36.48	9.24	0.73	0.18	0.05	0.98	0.25	1.28	0.34	38.73	
30年目	H 60		0.2334	93.8	21.32	4.44	10.42	36.20	8.82	0.74	0.18	0.05	0.97	0.24	1.26	0.32	38.43	9.37
31年目	H 61		0.2343	93.8	21.05	4.41	10.44	35.93	8.42	0.73	0.18	0.05	0.96	0.22	1.25	0.29	38.14	
32年目		0. 98712 0. 99282 1. 00226 0. 99130	0.2253	93.8	20.78	4.38	10.49	35.65	8.03	0.72	0.18	0.05	0.94	0.21	1.24	0.28	37.84	8.53
33年目	H 63		0.2166	93.8	20.51	4.35	10.51	35.38	7.66	0.71	0.18	0.05	0.93	0.20	1.23	0.27	37.54	8.13
34年目	H 64		0.2083	93.8	20.25	4.32	10.54	35.10	7.31	0.70	0.17	0.05	0.92	0.19	1.22	0.25	37.25	
35年目	H 65	0. 98660 0. 99266 1. 00224 0. 99107	0.2003	93.8	19.98	4.29	10.56	34.82	6.98	0.69	0.17	0.05	0.91	0.18	1.21	0.24	36.95	7.40
36年目	H 66	0. 98642 0. 99261 1. 00224 0. 99099	0.1926	93.8	19.71	4.26	10.58	34.55	6.65	0.68	0.17	0.05	0.90	0.17	1.20	0.23	36.65	7.06
37年目	H 67	0. 98623	0.1852	93.8	19.44	4.22	10.61	34.27	6.35	0.67	0.17	0.05	0.89	0.17	1.19	0.22	36.36	6.73
38年目	H 68	0. 98604 0. 99250 1. 00223 0. 99082	0.1780	93.8	19.18	4.19	10.63	34.00	6.05	0.66	0.17	0.05	0.88	0.16	1.18	0.21	36.06	6.42
39年目	H 69	0. 98584 0. 99244 1. 00222 0. 99074	0.1712	93.8	18.91	4.16	10.65	33.72	5.77	0.65	0.17	0.05	0.87	0.15	1.17	0.20	35.76	
40年目	H 70		0.1646	93.8	18.64	4.13	10.68	33.45	5.51	0.64	0.17	0.05	0.86	0.14	1.16	0.19	35.47	5.84
	H 71	0.000.0 0.00202 1.00221 0.00000	0.1583	93.8	18.37	4.10	10.70	33.17	5.25	0.63	0.17	0.05	0.85	0.13	1.15	0.18	35.17	5.57
42年目		0. 98521 0. 99226 1. 00221 0. 99047	0.1522	93.8	18.10	4.07	10.72	32.90	5.01	0.62	0.16	0.05	0.84	0.13	1.13	0.17	34.87	5.31
43年目	H 73		0.1463	93.8	17.84	4.04	10.75	32.62	4.77	0.61	0.16	0.05	0.83	0.12	1.12	0.16	34.58	
		0. 98476 0. 99214 1. 00220 0. 99029	0.1407	93.8	17.57	4.00	10.77	32.35	4.55	0.61	0.16	0.05	0.82	0.12	1.11	0.16	34.28	
45年目	H 75		0.1353	93.8	17.30	3.97	10.80	32.07	4.34	0.60	0.16	0.05	0.81	0.11	1.10	0.15	33.98	
46年目		0. 98428 0. 99202 1. 00219 0. 99009	0.1301	93.8	17.03	3.94	10.82	31.79	4.14	0.59	0.16	0.05	0.80	0.10	1.09	0.14	33.69	
47年目		0. 98403 0. 99195 1. 00219 0. 98999	0.1251	93.8	16.77	3.91	10.84	31.52	3.94	0.58	0.16	0.05	0.79	0.10	1.08	0.14	33.39	4.18
48年目	H 78	0. 98377 0. 99189 1. 00218 0. 98989	0.1203	93.8	16.50	3.88	10.87	31.24	3.76	0.57	0.16	0.05	0.78	0.09	1.07	0.13	33.09	
49年目	H 79	0. 98351 0. 99182 1. 00218 0. 98979	0.1157	93.8	16.23	3.85	10.89	30.97	3.58	0.56	0.16	0.05	0.77	0.09	1.06	0.12	32.80	3.79
合 計					1,115.19	230.36	509.92	1,855.47	682.45	38.44	9.32	2.48	50.24	18.86	65.12	24.10	1,970.83	725.41